

テーマ：『 身近な自然に働きかけ、創造性を培う子どもを育てる環境教育 』

大牟田市立 平原小学校

Tel. 0944-53-6019

担当者： 武下 英俊



#### ■実践内容：

本校では、「自然に働きかけ、創造性を培う子どもの育成」を研究主題に掲げ、自然の事物や現象にかかわる問題を観察や実験を通して解決するなかで、自然界の性質や規則性に納得し、自然のよさが実感できる子どもの育成をめざして研究を進めてきた。3年生は、理科「昆虫と植物」の発展として、総合的な学習の時間に「生き物のすみかを作ろう」を位置づけ学習を深めた。身近にビオトープを作って夏から秋にかけて集まる虫を観察するなかで、生き物の種類や数、また植物の生育の移り変わりを調べてきた。

#### ■実践成果：

1辺2mほどの学校のビオトープや手作りビオトープでの観察を続けながら、ボウフラの減少はメダカが食用としていることに関係すること、夏にやって来たトンボやアメンボなどの虫がいつの間になくなったこと、夏に勢いよく茂っていた蓮の葉が秋に枯れて少なくなったこと、また、他の水生植物の葉も枯れかけてきたが、茎や根は生きていることなどが分かった。身近な自然を通して虫や水性植物が四季の変化に応じて変わったことに納得し自然のよさが実感できた。

#### ■実践ポイント：

助成を受けて、身近に自然を作り、自然と虫や植物との関係を継続して観察できたことで、自然や生き物への関心が高まり、自然へ意欲的に働きかけていこうとする理科好きな子どもが増えてきた。

